

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-085251

(43)Date of publication of application : 07.04.1998

(51)Int.Cl.

A61F 11/14

(21)Application number : 08-263578

(71)Applicant : KOBAYASHI SHIGENOBU

(22)Date of filing : 12.09.1996

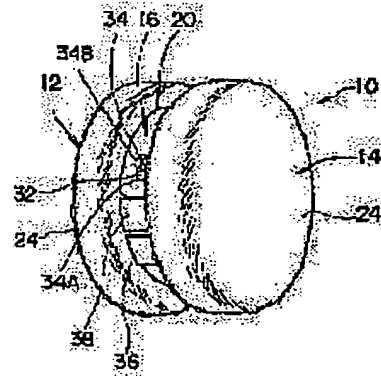
(72)Inventor : KOBAYASHI SHIGENOBU

(54) EAR COVER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an ear cover that can be made compact when not in use, as when carried around or stored.

SOLUTION: An ear cover 10 is provided with first and second ear cover bodies 12, 14 opposed to each other. The first and second ear cover bodies 12, 14 are connected together by an inverted-U-shaped connector 16 made from a synthetic resin. A bracket is placed upright at the ear abutting parts of the first and second ear cover bodies 12, 14, and a locking piece is pivotally supported against the bracket in such a way as to be rotatable toward the front with respect to the ear abutting parts that extend in a first direction. An enlarged-head pin 32 is placed upright outside the end of the locking piece and is inserted into a pin hole 34 formed through the first connecting piece 20 and second connecting pieces of the connector 16, and the first connecting piece 20 and second connecting pieces are pivotally supported in such a way as to be rotatable in a second direction crossing the first direction.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 12.09.1996

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 23.03.1999

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-85251

(43)公開日 平成10年(1998) 4月7日

(51)Int.Cl.⁹
A 6 1 F 11/14

識別記号

F I
A 4 1 D 21/00

Z

審査請求 有 請求項の数 1 F D (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平8-263578

(22)出願日 平成8年(1996) 9月12日

(71)出願人 596144377

小林 繁信

埼玉県川口市柳崎1-26-8

(72)発明者 小林 繁信

埼玉県川口市柳崎1-26-8

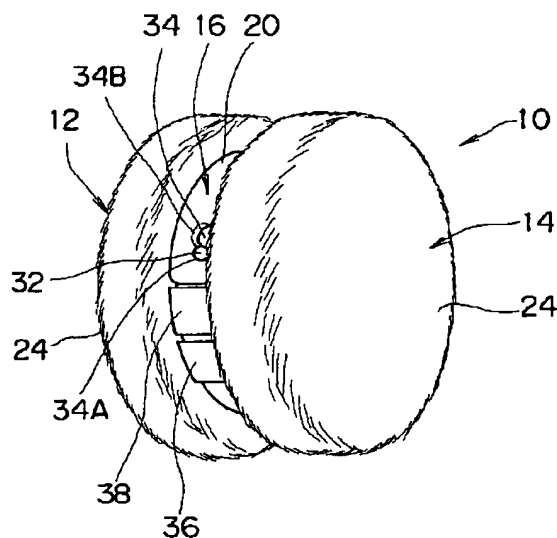
(74)代理人 弁理士 若林 弘

(54)【発明の名称】 耳 覆

(57)【要約】

【課題】 本発明は、携帯時や収納時等の非使用時にコンパクトにできる耳覆を提供するものである。

【解決手段】 耳覆10には第1耳覆体12と第2耳覆体14が対向して設けられている。これら第1耳覆体12と第2耳覆体14は合成樹脂材で形成された逆U字形状の連結体16によって連結されている。第1耳覆体12と第2耳覆体14の耳当接部26にはブラケット28が立設され、ブラケット28には係止片30が第1の方向である耳当接部26に対して正面方向に回動可能に枢支されている。また、係止片30の先端部の外側には拡張頭ピン32が立設され、拡張頭ピン32は前記連結体16の第1連結片20及び第2連結片22に貫通形成されたピン挿入孔34に挿入され、第1連結片20及び第2連結片22は第1の方向と交差方向である第2の方向に回動可能に枢支されている。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 一方の耳を覆う第 1 耳覆体と、他方の耳を覆う第 2 耳覆体と、前記第 1 耳覆体と第 2 耳覆体を連結する可撓性材料から形成された連結体と、前記第 1 耳覆体及び第 2 耳覆体の内側面に第 1 の方向に回動可能に取り付けられた係止片と、前記第 1 耳覆体の係止片の先端部に前記第 1 の方向と交差する方向である第 2 の方向に回動可能に係止された前記連結体の一端部と、前記第 2 耳覆体の係止片の先端部に前記第 1 の方向と交差する方向である第 2 の方向に回動可能に係止された前記連結体の他端部と、を有してなることを特徴とする耳覆。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、主に寒い時期に外出したり、あるいはスキー、スケートをする場合等に使用する耳覆に関する。

【0002】

【従来の技術】寒い時期に外出したり、あるいはスキー、スケート等をする場合等に耳が冷えるのを防止するために耳覆を使用する場合がある。しかし、従来の耳覆は一方の耳を覆う第 1 耳覆体と他方の耳を覆う第 2 耳覆体を連結する略逆 U 字形状の連結体は非可撓性材料で形成されると共に連結体の一端部は第 1 耳覆体に固定され、他端部は第 2 耳覆体に固定されているため、耳覆を使用しない場合に前記連結体が嵩張って邪魔になり耳覆をコンパクトにすることができないという不具合がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、上記不具合を解消すべく発明されたものであり、携帯時や収納時等の非使用時にコンパクトにできる耳覆を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】請求項 1 記載の発明は、一方の耳を覆う第 1 耳覆体と、他方の耳を覆う第 2 耳覆体と、前記第 1 耳覆体と第 2 耳覆体を連結する可撓性材料から形成された連結体と、前記第 1 耳覆体及び第 2 耳覆体の内側面に第 1 の方向に回動可能に取り付けられた係止片と、前記第 1 耳覆体の係止片の先端部に前記第 1 の方向と交差する方向である第 2 の方向に回動可能に係止された前記連結体の一端部と、前記第 2 耳覆体の係止片の先端部に前記第 1 の方向と交差する方向である第 2 の方向に回動可能に係止された前記連結体の他端部と、を有してなることを特徴としている。

【0005】

【発明の実施の形態】図 1 乃至図 6 には本発明に係る耳覆の一実施例が示されている。図 3 に示すように、本発明の耳覆 10 には一方の耳を覆う第 1 耳覆体 12 と他方の耳を覆う第 2 耳覆体 14 が対向して設けられている。これら第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 は逆 U 字形状の

連結体 16 によって連結されている。この連結体 16 は前記第 1 耳覆体 12 に取り付けられた第 1 連結片 20 と第 2 耳覆体 14 に取り付けられた第 2 連結片 22 とから構成されている。これら第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 は可撓性のある合成樹脂材で形成されている。前記第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 は略円盤形状に形成されており、第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 の外側には毛皮 24、24 が貼付され、防寒機能を果たすようになっている。また、第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 の内側には耳に直接当接する耳当接部 26、26（図 3 には第 1 耳覆体 12 の耳当接部 26 のみを示す）が形成されている。図 4 乃至図 6 には、前記第 1 耳覆体 12 の一部が拡大状態で示されている。図 5 及び図 6 に示すように、前記耳当接部 26 にはブラケット 28 が立設されている。このブラケット 28 には矩形状の係止片 30 が第 1 の方向である耳当接部 26 に対して正面方向（図 5 及び図 6 矢印 A 方向）に回動可能に枢支されている。図 5 及び図 6 に示すように、前記係止片 30 の先端部の外側には頭部が拡張した拡張ピン 32 が立設されている。図 1 及び図 2 に示すように、前記拡張ピン 32 は前記第 1 連結片 20 の基端部 20A に貫通形成されたピン挿入孔 34 に挿入され、前記第 1 連結片 20 は前記第 1 の方向と交差方向である第 2 の方向（図 4 矢印 B 方向）に回動可能に枢支されている。前記ピン挿入孔 34 は前記拡張ピン 32 の頭部より小径の小径部 34A と拡張ピン 32 の頭部より大径の大径部 34B を連続させて形成されている。従って、前記拡張ピン 32 はピン挿入孔 34 の小径部 34A に挿入されると不用意に拡張ピン 32 がピン挿入孔 34 から抜けなくなっている。なお、前記拡張ピン 32 をピン挿入孔 34 の小径部 34A から大径部 34B に移動させると、前記拡張ピン 32 はピン挿入孔 34 から抜けるので、連結体 16 と第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 とを分離することができるようになっている。なお、第 1 耳覆体 12 の構成と第 2 耳覆体 14 の構成は同一であるので重複を避けるため、第 2 耳覆体 14 の構成の説明は省略する。図 3 に示すように、前記第 1 連結片 20 の先端部には第 1 杵体 36 が形成され、第 2 連結片 22 の先端部には第 2 杵体 38 が形成されている。第 1 杵体 36 には第 2 連結片 22 の中間部が挿入され、第 2 杵体 38 には第 1 連結片 20 の中間部が挿入され、連結体 16 全体の長さを調節できるようになっている。

【0006】次に、実施例の作用について説明する。耳覆 10 を使用する場合は一方の耳に第 1 耳覆体 12 を対応させ、他方の耳に第 2 耳覆体 14 を対応させると共に連結体 16 を頭部に対応させて耳覆 10 を着用する。前記連結体 16 を長くしたい場合は第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 を共に離間方向に引っ張ることにより連結体 16 を長くできる。また、前記連結体 16 を短くしたい場合は第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 を共に接近方向

に押すことにより連結体 16 を短くできる。従って、頭部のサイズに合わせて連結体 16 の長さを自由に調節することができる。耳覆 10 を携帯する場合や収納する場合は図 1 及び図 2 に示すように連結体 16 の第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 を円弧状に曲げると共に係止片 30 を耳当接部 26 に対して垂直になるようにブラケット 28 を中心として第 1 の方向に回転させ、第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 を拡頭ピン 32 を中心として第 2 の方向に回転させる。これにより、第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 は図 2 に示すように円弧状態になって重なり 10 合い第 1 耳覆体 12 と第 2 耳覆体 14 とを当接することにより、図 1 に示すように耳覆 10 をコンパクトにすることができる。従って、耳覆体 10 の連結体 16 は図 1 及び図 2 に示す状態になるので、連結体 16 が嵩張って邪魔になることがないので、耳覆 10 をコンパクトにすることができる。

【0007】なお、実施例では連結体 16 を第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 とから構成し、連結体 16 の長さ調節を自由に行えるようにしたが、これに限定されるものではなく長さ調節を行うことはできないが連結体 16 20 を 1 本の可撓性材料で形成してもよいことは勿論である。また、実施例では連結体 16 の第 1 連結片 20 と第 2 連結片 22 を合成樹脂材で形成したが、これに限定されるものではなく可撓性材料であれば金属等の材料で形成してもよいことは勿論である。

【0008】

【発明の効果】以上説明したように本発明の耳覆は、連結体を折り曲げると共に連結体の一端部及び他端部を回転することにより耳覆をコンパクトにでき、携帯する場合や収納する場合に嵩張らないという優れた効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明に係る耳覆をコンパクトにした状態の斜視図である。

【図 2】本発明に係る耳覆をコンパクトにした状態の連結体の斜視図である。

【図 3】本発明に係る耳覆の使用状態を示す斜視図である。

【図 4】本発明に係る耳覆の第 1 耳覆体の一部拡大図である。

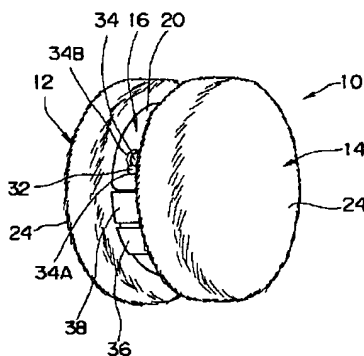
【図 5】本発明に係る耳覆の第 1 耳覆体の一部拡大図である。

【図 6】本発明に係る耳覆の第 1 耳覆体の一部拡大図である。

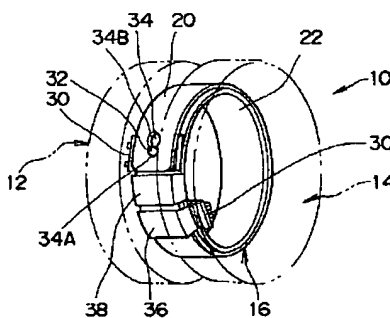
【符号の説明】

- 10・・・耳覆
- 12・・・第 1 耳覆体
- 14・・・第 2 耳覆体
- 16・・・連結体
- 20・・・第 1 連結片
- 22・・・第 2 連結片
- 30・・・係止片

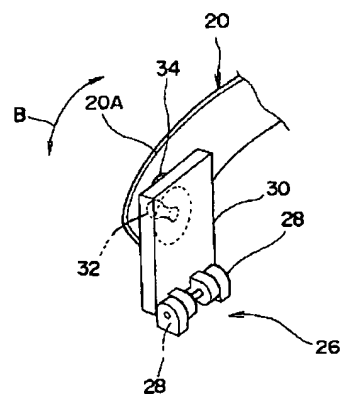
【図 1】



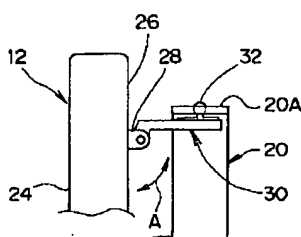
【図 2】



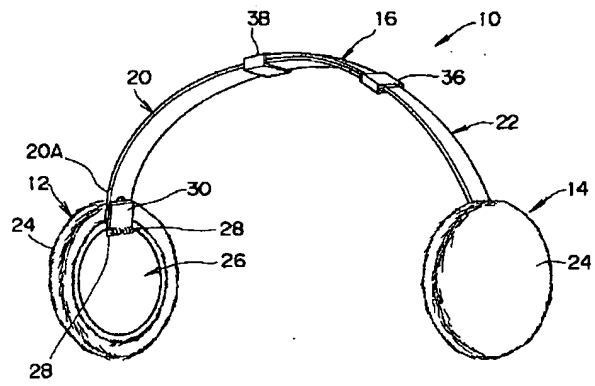
【図 4】



【図 6】



【図3】



【図5】

